

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
障害児保育 I	演習	1	加藤 義弘・岡田 強志

記載不要

**【授業のテーマ】**

障がいを持つ子どもの理解やかかわり方、また一人ひとりの子どもの実態を把握し、保育のあり方について学ぶ。

**【到達目標】**

- ・障がい児保育の目的や仕組み、障がいのある子どもの特性や発達支援などが理解できる。
- ・障がい特性を生かした保育の進め方や共に育つ保育についての理解が深まる。

**【授業の概要】**

1. テキストの内容を中心に、概論的に障がい特性や支援についての理解を深めていく。
2. 必要に応じて、参考資料の配布、新聞からの情報提供、映像などの視聴を行なう。
3. 加藤と岡田が講義を分担して担当する。

**【全体の授業計画・内容】**

1. 授業ガイダンス 障がい児保育を支える理念①(障害とは)  
事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】  
事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】
2. 障がい児保育を支える理念②(障がい児保育の歴史的変遷)  
事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】  
事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】
3. 障がい児保育を支える理念③(発達と障がい児保育の基本)  
事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】  
事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】
4. 障がいの理解と保育における発達の支援①(肢体不自由児の理解と支援)  
事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】  
事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】
5. 障がいの理解と保育における発達の支援②(視覚障がい児の理解と支援)  
事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】  
事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】
6. 障がいの理解と保育における発達の支援③(聴覚障がい児の理解と支援)  
事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】  
事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】
7. 障がいの理解と保育における発達の支援④(知的障がい児の理解と支援)  
事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】  
事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】
8. 障がいの理解と保育における発達の支援⑤(自閉症の理解と支援)  
事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】  
事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】

<p>9. 障がいの理解と保育における発達の支援⑥(注意欠陥・多動性障がい・学習障がいの理解と支援)</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>10. 障がいの理解と保育における発達の支援⑦(ことばの発達)</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>11. 障がい児保育の実際①(障がい児保育を支える記録・評価)</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>12. 障がい児保育の実際②(子ども一人ひとりの発達をうながす生活と遊びの環境)</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業で質問する【0.5 時間】</p>
<p>13. 障がい児保育の実際③(子ども同士のかかわりと育ち合い)</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 【0.5 時間】</p>
<p>14. 障がい児保育の実際④(職員間の協働)</p> <p>事前学修課題: シラバスと教科書の該当箇所を熟読する【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 配布資料と教科書の該当箇所を読み直し、疑問や不明な点は次回の授業までに質問する【0.5 時間】</p>
<p>15. 試験、およびまとめ</p> <p>事前学修課題: シラバスと授業で使用したすべての配布資料を熟読する【2 時間】</p> <p>事後学修課題: 試験内容でわかりづらかった点を、最後のまとめを参考にして理解する【1 時間】</p>
<p><b>【学習のあり方】</b></p> <p>予習のあり方: 指定されたテキストを自分なりに読み込むこと。</p> <p>学習のあり方: 教科書と資料、担当教員の講義を参考に、指令されたレポート課題を完成すること。</p> <p>復習のあり方: 授業で学んだ箇所をテキストで振り返り、実践的な力となるように意識していくこと。</p>
<p><b>【成績評価】</b></p> <p>平常試験(80%)、提出物(20%)により総合的に評価する。</p>
<p><b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b></p> <p>授業において振り返りシートに記入する。このシートに記入された質問を次の授業にて説明する。</p>
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>著者 阿部五月他 『障害児保育 …子どもとともに成長する保育者を目指して…』 萌文書林</p>
<p><b>【参考文献】</b></p> <p>適宜、お知らせする。</p>